

# 日本図書館情報学会会報

No. 166

2017年6月

日本図書館情報学会事務局

〒182-8525 東京都調布市緑ヶ丘1-25

白百合女子大学 今井福司研究室内

(事務局業務に関する問合せ先)

(株)ガリレオ 学会業務情報化センター内 日本図書館情報学会

E-mail : office@jslis.jp 学会ホームページ : <http://www.jslis.jp/>

ゆうちょ銀行 口座番号=00160-5-0045759 口座名義=日本図書館情報学会

ゆうちょ銀行 019店 口座番号=当座 0045759 口座名義=日本図書館情報学会

## 定例（通信）総会の実施にあたって

会長 小田 光宏

2017年度の定例（通信）総会を実施いたします。お示しする議案は五つとなります。いずれも、本学会の運営において重要なものとなります。慎重なご審議のほど、お願い申し上げます。

第一号議案は2016年度の事業報告であり、第二号議案はこの報告に基づく決算ならびに会計監査の結果となります。会計監査に関しては、2016年度に整備した会計監査のマニュアルに沿って、厳正かつ十二分な点検を、監事をお願いいたしました。

第三号議案と第四号議案は、2017年度の事業計画案と、それを実施するための予算案となります。第三号議案に関しては、根幹となる事業や活動の趣旨を大きく変えてはいませんが、会報 No.165 の挨拶文に記した、本年度の特命事項として常任理事を配置した事業を意識したものとなっています。前号との繰り返しを怖れずに示すならば、事務局体制の強化（学会運営の電子化等を含む）、学会活動の国際化、図書館情報学教育に資する事業の推進となります。また、学会事務局の業務の一部委託に関しては、旧委託先が撤退することを受け、株式会社ガリレオと新たな契約を取り交わしましたことも、事業計画の中に登場します。

一方、第四号議案では、昨年度から引き続き、支出の縮減を継続することを目指したものの、大幅な抑制は難しい状況となっています。とりわけ、上述した事務局業務の一部委託先の変更に伴い、初年度のみとは言えるものの、50万円を超える移管費用が発生しています。その結果、繰越金の減少が続くことになり、将来的な財政危機の可能性は、残念ながら現実味を帯びたものとなっています。財政危機の解消に関しては、理事会の了解のもと、会費額の改定を含む改善策の検討に早急に取り組みます。定例総会の議案そのものではありませんが、関連する事項として、ご認識いただければ幸いです。

第五号議案は、2016年度から連続となりますが、「日本図書館情報学会選挙管理運営規程」の改正を提案いたします。詳細は、後掲の資料に譲りますが、この規程と学会規約との整合性

を保つための措置となります。

以上、定例総会を実施するにあたり、会長として議案の要点と背景にある諸事情を記しました。会員のみならずには、各議案をご精査いただくとともに、これまで同様、本学会の運営に対して、忌憚のないご意見ならびにご助言をたまわりますよう、お願い申し上げます。

## 2017年度定例（通信）総会

正会員各位

会長 小田 光宏

2017年度定例（通信）総会として、以下の議案の可否につきまして、投票用紙（着払いはがき）または電子投票のいずれかの方法にて投票をお願いいたします。投票方法の詳細については、同封の案内をご覧ください（総会は正会員によって構成されるため、名誉会員、学生会員、団体会員、賛助会員の皆様には、案内は同封しておりません）。

### 記

投票期日：2017年6月30日（金）（郵送は当日消印有効、電子投票は23:59 まで有効）

議 題： 第一号議案 2016 年度事業報告

第二号議案 2016 年度決算報告・会計監査報告

第三号議案 2017 年度事業計画案

第四号議案 2017 年度予算案

第五号議案 副会長・常任理事選出に関わる選挙管理運営規程の改正について

### 第一号議案 2016 年度事業報告

#### 1. 運営事業

##### (1) 定例（通信）総会の開催

投票締切日を2016年6月末日として定例（通信）総会を実施し、有権者数678に対し、投票総数334、有効投票数334であった。投票の結果、全議案は成立した。投票は郵送及び電子投票によった。

##### (2) 理事会・常任理事会の開催

会務執行のため、下記のように開催した。

###### 1) 理事会

第1回 2016年5月14日（土） 明治大学（東京都千代田区）

第2回 2016年10月30日（日） 明治大学（東京都千代田区）

第3回（臨時）2016年12月3日（土） 明治大学（東京都千代田区）

###### 2) 常任理事会

第1回 2016年4月17日（日） 明治大学（東京都千代田区）

第2回 2016年7月9日（土） 明治大学（東京都千代田区）

第3回 2016年10月8日（土） 明治大学（東京都千代田区）

第4回（臨時） 2016年11月13日（日） 天理大学（奈良県天理市）

第5回 2016年12月3日（土） 明治大学（東京都千代田区）

第6回 2017年1月29日（日） 明治大学（東京都千代田区）

(3) 会員集会の開催

正会員・学生会員からの意見を聴く機会として、2016年11月13日（日）に天理大学（奈良県天理市）を会場として会員集会を開催した。

(4) 規程・内規等の改正・整備

学会運営の効率化と透明性を高めるために、2015年度に引き続き、規程ならびに内規の整備を進め、学会ウェブサイトにて規約、規程、内規をすべて掲載した。

(5) 委員会・ワーキンググループの開催

下記の委員会日程の他、各委員会ともメールによる審議・協議を随時行った。

1) 学会賞選考委員会

第1回 2016年7月27日（水） 明治大学（東京都千代田区）

第2回 2016年7月29日（金） 慶應義塾大学（東京都港区）

第3回 2016年9月23日（金） 慶應義塾大学（東京都港区）

2) 編集委員会

第1回 2016年6月25日（土） 明治大学（東京都千代田区）

3) 研究委員会

第1回 2016年7月10日（土） 筑波大学（東京都文京区）

第2回 2017年2月6日（月） 筑波大学（東京都文京区）

4) 総務委員会

メールによる審議・協議を除いて本年度の会合は開かれなかった。

5) 学会ウェブサイト見直しワーキンググループ

メールによる審議・協議を除いて本年度の会合は開かれなかった。

6) 図書館情報学教育に資する事業ワーキンググループ

第1回 2016年6月11日（土） 慶應義塾大学（東京都港区）

第2回 2016年10月8日（土） 明治大学（東京都千代田区）

第3回 2017年1月29日（日） 明治大学（東京都千代田区）

第4回 2017年2月26日（日） 明治大学（東京都千代田区）

(6) 図書館情報学教育事業に資する事業の計画策定・遂行

図書館情報学教育に資する事業についてワーキンググループを組織し、「図書館情報学教育の拡がり」と今後の方向性に関する調査・検討を行い、調査報告書としてまとめた。

(7) 会報の発行

『日本図書館情報学会会報』No.161（2016年4月）、No.162（同年6月）、No.163（同年10月）、No.164（2017年2月）を発行した（印刷版郵送・PDF版メール配信）。

(8) 学会広報の推進

学会ウェブサイトの管理・更新（会報・メルマガの掲載を含む）、メールマガジンの発行などを進めた。

(9) 学会サイトの見直し

2015年度までの検討に基づき、WordPressを用いてサイトを試作した。

(10) 事務局業務の一部委託

事務局業務の一部を大学生協学会支援センターへ委託した。ただし、同センターからの撤退通知に基づいて、2017年度からの委託について株式会社ガリレオ学会業務情報化センターと業務委託基本契約書を取り交わした。

(11) 学会活動への貢献に対する感謝状の贈呈

本学会の運営、事業、会員サービスの向上等に関して、個人会員を対象にその功績が顕著であると認められる者の検討を行ったが該当者なしとなった。

(12) 役員選挙の実施

2017-2019年度の役員選出のための選挙を実施した。役員選挙に関する報告書を会員へ配布した。

## 2. 研究促進事業

(1) 第64回研究大会の開催

第64回日本図書館情報学会研究大会を2016年11月12日(土)、13日(日)に天理大学(奈良県天理市)にて開催した。研究発表は28件で、参加者は181名であった。

(2) 研究大会におけるシンポジウム開催

第64回研究大会2日目午後「学校図書館への研究アプローチ」をテーマに、一般公開によるシンポジウムを開催した。

(3) 2016年度春季研究集会の開催

2016年度春季研究集会を2016年5月28日(土)に白百合女子大学(東京都調布市)にて開催した。研究発表は21件で、参加者は113名であった。

(4) 研究助成の募集・交付

研究助成の募集を行い、審議の結果、以下の1件に対して研究助成を行った。

- ・カレイラ松崎順子(東京経済大学)「ソウル市の「こども英語図書館」の現状調査」

なお、2013年度に研究助成を交付した者については研究助成の要件(研究終了後3年以内の学会誌への投稿)を満たしているかどうかを調査し必要に応じて対応した。

## 3. 刊行事業

(1) 『日本図書館情報学会誌』の発行

『日本図書館情報学会誌』第62巻第2号(2016年6月)、同第3号(同年9月)、同第4号(同年12月)、第63巻第1号(2017年3月)を発行した。

(2) 『日本図書館情報学会誌』電子版の提供

『日本図書館情報学会誌』電子版について、第62巻第2号(2016年6月)、同第3号(同年9月)、同第4号(同年12月)、第63巻第1号(2017年3月)をJ-STAGEに搭載し、提供のための準備を進めた。

(3) 「わかる!図書館情報学」シリーズの編集・刊行

第3巻『メタデータとウェブサービス』の編集を進め、刊行した。また、第4巻『学校図書館への研究アプローチ』の企画を進めた。

## 4. 表彰事業

(1) 日本図書館情報学会 学会賞・論文賞・奨励賞の選考・授与

表彰内規に基づき、日本図書館情報学会賞、論文賞、奨励賞の選考を行い以下の者に授与した。

1) 学会賞

福井佑介『図書館の倫理的価値「知る自由」の歴史的展開』松籟社, 2015, 254p.

## 2) 論文賞

浅石卓真「高校理科教科書における知識の形成過程：テキストにおける語彙ネットワークの成長過程の分析」『日本図書館情報学会誌』第62巻第1号(2016年3月), p. 38-53.

## 3) 奨励賞

和気尚美「デンマークの移民に対する公共図書館サービス：アクターの機能と関係に着目して」『日本図書館情報学会誌』第61巻第3号(2015年9月), p. 135-151.

## (2) 優秀発表賞の選考・授与

2016年度春季研究集会、第64回日本図書館情報学会研究大会における口頭発表について、研究内容・発表技法という観点から優秀発表賞の選考を実施した。審査の結果、いずれも該当なしとなった。

## 5. 連携・協力事業

### (1) 他機関との連携・協力の推進

図書館情報学の研究推進に資するよう、関係機関・諸団体との連携・協力を進めた。関係学協会、大学等からの後援依頼に基づき、後援を行った(12件：国内6件、国外6件)。

### (2) 国際的研究活動の支援

図書館情報学関連の国際会議情報等を、学会のメールマガジンに掲載した。

## 第二号議案 2016年度決算報告・会計監査報告

### 1. 2016年度決算報告

(収入の部)

項目	予算(円)	決算(円)	備考
1 会費			
正会員	3,655,000	2,804,000	5,000円×559件+9,000円(海外居住者分等)
学生会員	132,000	84,000	2,000円×42件
団体会員	645,000	615,000	15,000円×39件+30,000円(銀行振込2件)
賛助会員	100,000	100,000	50,000円×2件
入会金	—	46,000	1,000円×46件
2 広告料	285,000	351,000	30,000円×6件, 25,000円×5件, 23,000円×2件
3 学会誌売上金	1,633,800	1,568,700	年間購読 111機関×8,400円+早川書店 16,800円 個別契約 295冊×2,100円 『図書館情報学用語辞典』第4版 133,368円 『わかるシリーズ』第1巻 31,517円, 第2巻 127,682円
4 印税	234,000	292,567	
5 春季研究集会収入	239,000	228,000	参加費収入 228,000円
6 雑収入	10,500	35,450	著作権使用料 10,692円, 論文集売上 24,600円, 利息 108円, その他 50円
7 前年度繰越金	5,038,826	5,038,826	
合計	11,973,126	11,163,543	

## (支出の部)

項目	予算(円)	決算(円)	備考	
1 運営事業費				
理事会・常任理事会 開催費	605,400	731,103	交通費：理事会 交通費：常任理事会 会議費：理事会 会議費：常任理事会 宿泊費：常任理事会 日当：理事会 日当：常任理事会	196,460 326,440 377 2,626 39,200 72,000 94,000
会計監査実施費	47,000	34,160	交通費 宿泊費 日当 会議費	26,160 0 8,000 0
委員会開催費 研究委員会	99,900	101,260	交通費 日当 通信費	65,260 36,000 0
編集委員会	154,200	105,560	交通費 日当 通信費 会議費 消耗品費 非会員査読者謝礼	31,640 14,000 6,665 0 39,255 14,000
学会賞選考委員会	35,000	23,280	交通費 日当 消耗品費	1,280 22,000 0
総務委員会	22,000	9,051	交通費 日当 会議費 サーバレンタル費	0 0 0 9,051
学会ウェブサイト 見直し WG	20,000	0	日当	0
図書館情報学教育 に資する事業 WG	210,800	186,672	交通費 日当 調査費	134,340 34,000 18,332
選挙管理運営委員会	375,108	412,922	交通費 日当 会議費	12,880 46,000 1,200

			消耗品費	1,109
			発送費	8,252
			業務委託料：封筒・文書印刷費	140,670
			業務委託料：発送費	202,811
会報発行費	610,000	614,208	印刷費	279,640
			発送費	247,564
			封筒作成費	87,004
事務局運営費	1,384,500	1,293,563	消耗品費	2,488
			印刷費：コピー	0
			印刷費：振込用紙印刷費	58,671
			郵便費	51,631
			発送費：大学生協から会員宛	27,168
			事務局職員通勤手当	15,040
			事務局職員賃金	64,125
			振込手数料	18,684
			会費徴収手数料	54,906
			感謝状作成費	0
			雑費	30,200
			備品費	0
(内 業務委託費)	(内 1,040,000)	(内 970,650)	業務委託費：大学生協	970,650
2 研究促進事業費				
研究大会開催費	354,000	237,600	案内発送費	103,450
			会場校会長挨拶交通費	29,600
			事務局支援拠出金	100,000
			その他：会場校挨拶手土産等	4,550
研究大会シンポジウム開催費	70,000	117,480	シンポジウムコーディネーター打合せ交通費	32,400
			シンポジウムコーディネーター打合せ日当	8,000
			非会員パネリスト交通費	67,080
			非会員パネリスト謝礼	10,000
春季研究集会開催費	343,500	215,394	消耗品費	3,774
			印刷費：発表論文集印刷	120,325
			通信費	4,680
			交通費：会場校会長挨拶交通費	0
			会議費：茶菓，弁当	2,591
			人件費：アルバイト代	83,000
			その他：会場借料，会場校挨拶手土産等	0
			振込手数料	1,024

研究助成費	300,000	220,000	研究助成金	220,000
3 刊行事業費				
学会誌発行費	2,961,600	2,714,130	印刷費	2,156,628
			発送費	362,002
			封筒作成費	91,820
			J-STAGE 搭載費	103,680
4 表彰事業費				
学会賞等賞金	318,500	315,000	賞金	300,000
・賞状作成費			賞状	15,000
5 予備費	4,061,618	13,000	J-STAGE 移行検討 WG, 英文入会申 込書監修料	13,000
合計	11,973,126	7,344,383		
次年度繰越金		3,819,160		

## 2. 会計監査報告

会計監査の結果、事務処理、帳簿記入は正確に行われていたことを報告いたします。

2017年 5月6日 監事 葉袋 秀樹 (印)

2017年 5月6日 監事 渡辺 信一 (印)

## 第三号議案 2017年度事業計画案

### 1. 運営事業

#### (1) 定例（通信）総会の開催

投票締切日を2017年6月末日として定例（通信）総会を実施する。投票は郵送および電子投票による。

#### (2) 理事会・常任理事会の開催

下記の予定で、理事会・常任理事会を開催する。

##### 1) 理事会

第1回 2017年5月27日（土） 明治大学（東京都千代田区）

第2回 2017年10月28日（土） 明治大学（東京都千代田区）

##### 2) 常任理事会

第1回 2017年4月23日（日） 明治大学（東京都千代田区）

第2回 2017年7月9日（日） 明治大学（東京都千代田区）

第3回 2017年10月15日（日） 明治大学（東京都千代田区）

第4回 2017年12月2日（土） 明治大学（東京都千代田区）

第5回 2018年1月28日（日） 明治大学（東京都千代田区）

#### (3) 会員集会の開催

正会員・学生会員からの意見を聴く機会として、2017年11月5日（日）に椋山女学園大学（愛知



県名古屋市) を会場として会員集会を開催する。

(4) 規程・内規等の改正・整備

日本図書館情報学会規約との整合性をとるため、選挙管理運営規程を改正する。内規等に関する整備を進める。

(5) 委員会の開催

下記の予定で、委員会・ワーキンググループを開催する。適宜メールによる審議・協議を行う。

- 1) 学会賞選考委員会 4回
- 2) 編集委員会 1回
- 3) 研究委員会 2回
- 4) 総務委員会 2回 (学会ウェブサイト見直しワーキンググループ 1回を含む)
- 5) J-STAGE 運営ワーキンググループ メールによる審議・協議のみ
- 6) 学会国際化事業ワーキンググループ 2回

(6) 図書館情報学教育に資する事業の計画策定・遂行

2016 年度に図書館情報学教育に資する事業について、ワーキンググループが作成した報告書に基づき、日本図書館協会図書館情報学教育部会との共催でシンポジウムを開催する。

(7) 会報の発行

『日本図書館情報学会会報』No.165 (2017 年 4 月), No.166 (同年 6 月), No.167 (同年 10 月), No.168 (2018 年 2 月) を発行する (印刷版郵送・PDF 版メール配信)。

(8) 学会広報の推進

学会サイトの管理・更新 (会報・メルマガの掲載を含む), メールマガジンの発行などを進める。

(9) 学会サイトの見直し

2016 年度に引き続き、情報の参照や蓄積などで問題が生じている学会サイトの見直し、再構築を行う。

(10) 事務局業務の一部委託

会員管理, 会費管理, 発送業務等, 事務局業務の一部を株式会社ガリレオ学会業務情報化センターに委託する。

(11) 学会活動への貢献に対する感謝状の贈呈

本学会の運営, 事業, 会員サービスの向上等に関して, その功績が顕著であると認められる個人会員に, 感謝状を贈呈する。

(12) 学会の財政状況の検討ならびに, 改善計画の策定

学会の財政状況を確認し, また会報の印刷版の見直し, 会費額の改定に関して検討を行う。また会員からの意見を聴取した上で, 具体的な改善計画の策定を行う。

## 2. 研究促進事業

(1) 第 65 回研究大会の開催

第 65 回日本図書館情報学会研究大会を 2017 年 11 月 4 日 (土), 5 日 (日) に椋山女学園大学 (愛知県名古屋市) にて開催する。

(2) 研究大会におけるシンポジウム開催

第 65 回研究大会 2 日目午後, 「研究者が現場と関わりながら研究をすること: 医療健康分野で考える」 (仮題) をテーマに, 一般公開によるシンポジウムを開催する。

(3) 2017 年度春季研究集会の開催

2017年度春季研究集会を2017年6月3日（土）に専修大学（東京都千代田区）にて開催する。

(4) 研究助成の募集・交付

図書館情報学振興のために、会員が個人として計画した研究に対し、研究の遂行ならびにその結果のとりまとめに要する経費の一部を助成する。

### 3. 刊行事業

(1) 『日本図書館情報学会誌』の発行

『日本図書館情報学会誌』第63巻第2号（2017年6月）、同第3号（同年9月）、同第4号（同年12月）、第64巻第1号（2018年3月）を発行する。

(2) J-STAGEによる『日本図書館情報学会誌』の提供

- ・『日本図書館情報学会誌』について、編集委員会が事務局と協力して、J-STAGEを通じて提供する。また、『日本図書館情報学会誌』の学会員への購読者認証サービスを開始する。
- ・『日本図書館情報学会誌』（過去分）および『図書館学会年報』（NII電子化分）のオープンアクセスでの提供を行う。また、過去1年分に関しては非会員へのペーパービューを実施する。

(3) 「わかる！図書館情報学」シリーズの編集・刊行

第4巻『学校図書館への研究アプローチ』の編集を進め、刊行する。また、第5巻『医療情報と図書館』（仮題）の企画を進める。

(4) 『図書館情報学用語辞典』第5版の編纂

『図書館情報学用語辞典』第5版の刊行に向けて編集委員会を組織する。

### 4. 表彰事業

(1) 日本図書館情報学会 学会賞・論文賞・奨励賞の選考・授与

- ・正会員の優れた著作で2015年度もしくは2016年度に発表されたものを対象として「日本図書館情報学会賞」を授与する。
- ・『日本図書館情報学会誌』第62巻第2号から第63巻第1号までに掲載された論文を対象として「日本図書館情報学会論文賞」を授与する。
- ・個人会員（若手研究者）の優れた著作で『日本図書館情報学会誌』第62巻第2号から第63巻第1号までに掲載されたものを中心に「日本図書館情報学会奨励賞」を授与する。

(2) 優秀発表賞の選考・授与

2017年度春季研究集会、第65回日本図書館情報学会研究大会において優れた口頭発表を行った個人会員に「優秀発表賞」を授与する。

### 5. 連携・協力事業

(1) 他機関との連携・協力の推進

図書館情報学の研究推進に資するよう、関係機関・諸団体との連携・協力を進める。

(2) 国際的研究活動の支援

図書館情報学関連の国際会議情報等を、学会のメールマガジンに積極的に掲載する。

(3) 学会国際化のための条件整備

学会国際化のために以下の条件整備を進める。

- ・海外会員制度の整備

- ・ 学会ウェブサイトの英語版再整備
  - ・ 学会誌の「投稿規程」の英語版等の検討
  - ・ 海外からの後援申込みの書式整備
  - ・ 国際会議等の広報の充実

#### 第四号議案 2017年度予算案

(収入の部)

項目	予算(円)	備考
1 会費		
正会員	3,490,000	現会員 675 人×5,000 円+未納分 27 件×5,000 円+9 件×5,000× 2-既納分 22 人×5,000 円
学生会員	132,000	現会員 59 人×2,000 円+未納分 7 件×2,000 円
団体会員	615,000	現会員 41 機関×15,000 円
賛助会員	100,000	現会員 2 機関×50,000 円
2 広告料	351,000	30,000 円×6 件, 25,000 円×5 件, 23,000 円×2 件
3 学会誌売上金	1,568,700	定期購読 12,000 円×0.7×113 セット 949,200 個別購読 3,000 円×0.7×295 部 619,500
4 印税	428,000	わかる! 図書館情報学シリーズ第 1 巻 1,800 円×100 部×0.1 18,000 わかる! 図書館情報学シリーズ第 2 巻 1,800 円×1,200 部×0.1 216,000 わかる! 図書館情報学シリーズ第 3 巻 1,800 円×800 部×0.1 144,000 『図書館情報学用語辞典第 4 版』 50,000
5 春季研究集会収入	229,000	2017 年度春季研究集会収入: 正 2,000 円×100 人+学 1,000 円×5 人+非 3,000 円×8 人 229,000
6 雑収入	20,200	著作権使用料他 10,000 発表論文集収入: 2,000 円×5 冊 10,000 利息 200
7 前年度繰越金	3,819,160	*参考: 2015 年度 5,038,826
合計	10,753,060	

## (支出の部)

項目	予算(円)	備考	
1 運営事業費			
理事会・常任理事会 開催費	981,100	交通費： 理事会 245,800 円(14 人分)×2 回 交通費： 常任理事会 50,700 円(1 人分)×5 回 会議費 宿泊費： 常任理事会(12,000 円×1 人)×5 回 日当： 理事会(2,000 円×24 人)×2 回 日当： 常任理事会(2,000 円×8 人)×5 回	491,600 253,500 0 60,000 96,000 80,000
会計監査実施費	35,700	交通費 宿泊費 日当： (2,000 円×4 人) 会議費	27,700 0 8,000 0
委員会開催費 研究委員会	104,420	交通費： 3 人分×2 回 日当： (2,000 円×10 人)×2 回 通信費	62,920 40,000 1,500
編集委員会	215,460	交通費： 4 人分 日当： (2,000 円×10 人)×1 回 通信費 会議費 書籍費 非会員査読者謝礼	84,460 20,000 13,000 0 70,000 28,000
学会賞選考委員会	41,000	交通費 日当： (2,000 円×3 人×2 回)+(2,000 円×4 人 ×2 回) 書籍費	3,000 28,000 10,000
総務委員会	97,320	交通費： (700 円×1 人+23,200 円×1 人)×1 回 日当： (2,000 円×4 人)×1 回 会議費 サーバレンタル・ドメイン維持費 学会ウェブサイト見直しWG 交通費：中部(23,200 円×2 人)+23 区外(1,020 円) 日当： (2,000 円×4 人)×1 回	23,900 8,000 0 10,000 47,420 8,000
図書館情報学教育に 資する事業 WG	20,000	シンポジウム資料費	20,000

学会国際化事業 WG	11,400	日当:(2,000円×2人)×2回 ネイティブチェック費用	8,000 3,400
用語辞典編集委員会	32,000	日当:(2,000円×4人)×1回 交通費:(24,000円×1名)×1回	8,000 24,000
会報発行費	610,000	印刷費: No.165,167,168(50,000円×3号) +No.166 100,000円 発送費: 65,000円×4回 封筒作成費: 15,000円×4回 通信総会印刷・発送費	250,000 260,000 60,000 40,000
事務局運営費	1,919,108	消耗品費 郵便費 発送費: ガリレオから会員宛 事務局職員通勤手当(新宿-仙川 180円(1名)× 2×12) 事務局職員賃金 会計処理補助1名(4,750円×12ヶ月), Web ページ更新(4,750円×10ヶ月) 業務委託費: 移管初期費: 株式会社ガリレオ 業務委託費: 株式会社ガリレオ(11ヶ月分, 3月 分は2018年度請求) 業務委託費: 大学生協(業務委託費, 前期末請 求分) 業務委託費: 大学生協(引き継ぎデータ作成費) 業務委託費: 大学生協引き継ぎ郵送費, 処分費 振込手数料 感謝状作成費 春季研究集会 会場校挨拶手土産等 春季研究集会 会場校会長挨拶交通費 春季研究集会 会長挨拶日当 研究大会 会場校挨拶手土産等 研究大会 会場校会長挨拶交通費 研究大会 会長挨拶日当 備品費	10,000 30,000 50,000 4,320 104,500 551,567 905,000 106,722 54,000 40,999 20,000 6,500 3,500 1,500 2,000 3,500 23,000 2,000 0
2 研究促進事業費			
研究大会開催費	300,000	案内発送費 事務局支援拠出金	100,000 200,000
研究大会シンポジウム 開催費	52,000	日当(2,000円×6名) シンポジウムコーディネーター打ち合わせ交通費 非会員パネリスト交通費	12,000 5,000 25,000

春季研究集会開催費	255,000	非会員パネリスト謝礼	10,000
		消耗品費	5,000
		印刷費：発表論文集印刷	130,000
		通信費	5,000
		会議費：茶菓, 弁当	15,000
研究助成費	300,000	人件費：アルバイト代	100,000
3 刊行事業費		研究助成金	300,000
学会誌発行費	2,367,368	印刷費：63(2)-64(1)(457,500円×4号)	1,830,000
		発送費：90,000円×4回	360,000
		封筒作成費： (角3封筒 2,200部 31,500円 PP封筒 1,300部 9,130円 保管料/年 3,600円+税)	47,768
		J-STAGE 搭載費：3,240円×40本	129,600
4 表彰事業費			
学会賞等賞金	218,500	賞金	200,000
賞状作成費		賞状	18,500
5 予備費	3,192,684		
合計	10,753,060		

#### 第五号議案 副会長・常任理事選出に関わる選挙管理運営規程の改正について

##### 改正の趣旨

2017-2019 年度役員選出のための選挙報告において指摘された、副会長・常任理事選出方法に関する日本図書館情報学会規約と選挙管理運営規程の齟齬について、常任理事会で検討した結果、選挙管理運営規程の当該条文を改正することが望ましいとの結論にいたった。

##### [規約と選挙管理運営規程との相違点]

##### 1) 規約

・第8条で理事は副会長および常任理事を含むとした上で、会長は理事とは別の役職としてリストされている。

・第9条 前条のうち、会長は、正会員から無記名投票によって選出する。

2 理事 21名は、正会員から無記名投票によって選出する。

3 副会長は、理事の互選によって選出する。

4 常任理事 6名のうち、5名は理事の互選により、1名は会長指名によって選出する。

5 監事 2名は、正会員から無記名投票によって選出する。

6 役員任期は3年とする。

7 通算5期、理事にあったものは、理事につくことができない。ただし、副会長および第9条第4項にいう会長指名常任理事としての任期は含めない。

\*副会長・常任理事の選出に会長は加わらないと読み取れる。

## 2) 選挙管理運営規程

第9条 会長、理事、および監事の当選者が確定したのち、選挙管理運営委員会は、次の各号により、すみやかに副会長および常任理事の選挙を実施する。

1) 選挙管理運営委員会は、会長当選者を含む理事当選者に対して、副会長および常任理事の選挙投票を求める。

2) 副会長は単記投票とする。

3) 常任理事は5名連記投票とする。

4) 第7条第4号、および第8条の規程はこの選挙に際しても準用される。

\*副会長・常任理事の選出に会長は加わると明記されている。

### [検討の経緯]

現在の選出方法では、会長は副会長・常任理事の選出に参加してきた。しかし、規約の条文からは、会長と理事は会員の直接選挙でそれぞれ選ばれ、副会長と常任理事はその理事の代表として理事の互選で選出されるという意図が読み取れる。選挙管理運営規程でなぜ規約と異なる方法が明記されるに至ったかは不明であるが、規約の意図を鑑みるのであれば、現在の選挙管理運営規程を改正することが望ましいとの結論に至った。

### [改正案]

新	旧
<p>第9条 会長、理事、および監事の当選者が確定したのち、選挙管理運営委員会は、次の各号により、すみやかに副会長および常任理事の選挙を実施する。</p> <p>1) <u>副会長および常任理事の選挙は、理事当選者の互選による投票で行う。</u> (現行通りにつき以下略)</p>	<p>第9条 会長、理事、および監事の当選者が確定したのち、選挙管理運営委員会は、次の各号により、すみやかに副会長および常任理事の選挙を実施する。</p> <p>1) <u>選挙管理運営委員会は、会長当選者を含む理事当選者に対して、副会長および常任理事の選挙投票を求める。</u> (現行通りにつき以下略)</p>

## 第 65 回研究大会のご案内

研究委員会／第 65 回研究大会事務局

第 65 回日本図書館情報学会研究大会を下記のとおり開催いたします。

### 開催要領

日 程： 2017 年 11 月 4 日（土）、5 日（日）

会 場： 梶山女学園大学 星が丘キャンパス 文化情報学部メディア棟

事務局： 〒464-8662

名古屋市千種区星が丘元町 17-3 梶山女学園大学文化情報学部  
山本昭和研究室 日本図書館情報学会第 65 回研究大会事務局  
Tel :052-781-5964(研究室直通)

E-Mail:jslis2017@sugiyama-u.ac.jp

参加費（予定）： 正会員 4,000 円，学生会員 1,000 円，非会員 6,000 円

懇親会費（予定）： 4,000 円

### 宿泊案内

研究大会事務局では宿舎の斡旋はいたしませんので、ご了承ください。

### プログラム（予定）

11 月 4 日（土）		11 月 5 日（日）	
12:30-13:00	受付	9:00-9:30	受付
13:00-13:15	開会式	9:30-12:00	研究発表
13:30-17:00	研究発表	12:00-13:00	昼食
17:30-19:30	懇親会	13:00-14:00	会員集会
		14:00-16:50	シンポジウム
		16:50-17:00	閉会式

- ・ 大会 2 日目の午後には「会員集会」を開催いたしますので、ぜひご参加ください。
- ・ 大会 2 日目のシンポジウムについては、「研究者が現場と関わりながら研究をすること：医療健康分野で考える」（仮題）をテーマとして開催予定です。シンポジウムは一般公開といたしますので、研究大会参加者以外の方でも無料で参加することができます。

### ■ 発表募集要領

(1) 応募資格：日本図書館情報学会の正会員および学生会員（共同発表の場合、筆頭発表者が正会員または学生会員であること）

研究発表の申込は、申込時点で既に正会員・学生会員である者に限ります。申込時点で入会が承認されていない場合は、研究発表の申込はできません。未入会の方は、発表申込締切前に入会申込締切日となる 8 月 20 日（土）までに入会申込を行い、入会の承認通知が届いた後に、発表の申込をしてください。



- (2) 発表時間：1 件 30 分（発表時間 20 分，質疑応答 10 分）
- (3) 発表言語：日本語もしくは英語であること。どちらの言語の場合も，申込，発表論文，発表，記録まで同一言語とすることを条件とします。英語での発表も受け付けますが，多くの聴衆が日本語での発表を期待している現状に鑑み，基本的には日本語での発表が望ましいと考えます。  
申込方法：学会ウェブサイトから発表申込申請フォームにアクセスの上，お申し込みください。  
なお，受理された申込書は ウェブサイトで公開する予定です。あらかじめご承知おきください。
- (4) 申込締切：2017 年 9 月 4 日（月）24 時必着  
申し込み直後に申込みを受け付けた旨のメールを差し上げます(受理の連絡はまた別途行います)。  
申し込んだにもかかわらずメールがない場合，トラブルの可能性がありますので，研究委員会（kenkyu@jslis.jp）までご連絡ください。
- (5) 発表論文の提出：発表することが決まった場合には，A4 判で 4 枚の発表論文を作成し，2017 年 10 月 4 日（水）までに原稿を研究委員会ウェブサイトを送っていただきます。なお，発表論文提出の締切日は前後することがありますのでご了解ください。発表論文の作成方法などに関しては，発表申込受理者にご連絡いたします。
- (6) 発表のための機材：パソコンによるディスプレイ（PowerPoint）装置が使用可能です。その他の機材をご要望の場合には，研究委員会（kenkyu@jslis.jp）までお問い合わせください。
- (7) 優秀発表賞：研究委員会における審査において，研究内容・発表技法という観点から優れた発表を行ったと判断された登壇発表者を対象として優秀発表賞を授与いたします。優秀発表賞については，学会ウェブサイト並びに学会誌に掲載される研究大会・春季研究集会概要において公表いたします。

#### ■ 研究大会・春季研究集会における発表のルールについて

研究大会および春季研究集会は次のようなルールの下に統一的に運用されています。発表希望者はルールをご確認のうえ，発表申込をしてください。

- (1) 個人会員（正会員・学生会員）は研究大会および春季研究集会において同様に発表の権利をもつ。
- (2) 研究発表は他で公表していないオリジナルなものに限るものとする。
- (3) 個人会員が一度の研究大会あるいは春季研究集会において個人発表および共同発表の筆頭発表者となることは，合わせて 1 回を原則とする。
- (4) 共同研究の筆頭発表者は個人会員でなければならない。
- (5) 発表論文の原稿は，発表内容を論文の形式で記述するものとする。
- (6) 指定の期日までに発表論文を提出しなかった者は，発表を取り下げたものとみなす。
- (7) 発表申請受理後のプログラム(発表タイトル，発表者，発表内容，発表スケジュール)の変更は原則として認めない。
- (8) 発表申込，発表論文作成，発表，発表後の抄録提出は同一言語で行うこととする。その際の言語は，日本語もしくは英語で行うものとする。
- (9) 発表当日の資料配布は，原則認めない。何らかの理由で資料配布を希望する場合は，発表当日の 1 週間前までに研究委員会宛に，資料に配布の理由を添えて申請し，許諾を得る。資料配布が認められた場合は，印刷および配布は発表者自身で責任をもって行う。

#### ■ 発表者への諸注意

- (1) 発表会場へは遅くとも，セッションの始まる 10 分前には到着するようにしてください。

- (2) 会場の備え付けの発表用 PC に発表用ファイルをコピーしてください。また、セッションを円滑に進行するため、発表者は会場前方に着席してください。
- (3) 本学会発表では、原則として会場に備え付けの PC での発表としています。持ち込み PC の利用が必要となる場合は、発表申込申請フォームの備考欄に＜PC のつなぎかえの希望＞について、必ず明記して下さい。事前申請を行わなかった場合、他の発表者の不利益になる可能性があるため、持ち込み PC のつなぎかえはできません。

## 2017 年度 研究助成の決定

2017 年度の研究助成について 6 件の応募があり、研究委員会にて審議いたしました。審査は、例年の手順・方法を踏襲し、あらかじめ定めた評価基準に従って研究委員が採点した結果を総合して、助成対象を決定しました。評価は、申請者が特定されないよう、氏名等個人が特定される情報を伏せて、申請者名を知りうる立場にある研究委員を外して行いました。評価基準は科学研究費に準拠して、(1) 研究目的の明確さ、(2) 研究の独創性、(3) 遂行可能性、(4) 成果の公表可能性、(5) 申請金額の妥当性、(6) 研究組織の適切性、の 6 点を参考に、5 段階で総合点をつけ、総合点の平均が 3 点以上を助成の最低基準としたうえで、議論の結果、下記の 1 件を助成対象としました。

研究代表者：汐崎 順子（慶應義塾大学（非常勤講師））

研究題目：子どもの読書能力と読書興味の現在：文庫の読書記録と利用行動の調査による実証的研究  
助成額：300,000 円

（研究委員会）

## 図書館情報学教育に資する事業について

2016 年に本学会に設置された「図書館情報学教育に資する事業ワーキンググループ」（主査：石田栄美）の調査報告書「図書館情報学教育の拡がりと今後の方向性に関する調査報告書」（2017 年 3 月）が完成しました。報告書全文は学会ウェブサイトからご覧いただけます。

これに関連して、2017 年 10 月 13 日（金）午後、図書館情報学教育の現状と今後に関するシンポジウムを開催する予定です（於：国立オリンピック記念青少年総合センター、共催：日本図書館協会図書館情報学教育部会）。報告書で取り上げられた先駆的取り組みや隣接領域の動向を踏まえつつ、その広がり可能性を検討します。ご参加いただければ幸いです。

### ・登壇者

浅石卓真氏（愛知淑徳大学）、宇陀則彦氏（筑波大学）、永崎研宣氏（国際日本文化研究センター）

### ・討議コーディネータ

小山憲司氏（中央大学）

なお、参加方法の詳細は、後日、学会ウェブサイトやメルマガでご案内する予定です。

## 役員会等の記録

### 2017年度第1回常任理事会（開催記録）

日時：2017年4月23日（日）13:00～18:30

場所：明治大学駿河台キャンパス リバティタワー19階 共同実習室2

出席者（敬称略）：小田，倉田，青柳，浅石，今井（記録），岩崎，荻原，三浦

欠席者：なし

議事内容：

1. 編集委員会について
2. 第1回理事会の議題整理
3. 選挙管理運営委員長の承認
4. 2016年度事業報告
5. 2016年度決算報告
6. 2017年度事業計画案
7. 2017年度予算案
8. 2017年度4月分入退会審査について
9. 副会長選出に関わる選挙管理運営規程と規約の相違について
10. 研究委員会からの研究助成について
11. J-STAGEのバックナンバーについて
12. その他報告

### 2017年度第1回理事会（議事抄録）

日時：2017年5月27日（土）15:00～17:30

場所：明治大学駿河台キャンパス リバティタワー 19階 共同実習室2

出席者（敬称略）：小田，倉田，青柳，浅石，石田，今井（記録），泉山，岩崎，荻原，  
河西，岸田，高山，田窪，松林，松本，三浦，山本，吉田

欠席者（敬称略）：安形輝，安形麻理，池谷，佐藤，高久

列席（監事）：薬袋，渡辺

議事内容：

会に先立って、小田会長から、会長指名常任理事として愛知淑徳大学の浅石卓真氏を指名したことが報告された。

<報告事項>

#### 1. 2017年から2019年度の役員体制

資料に基づき、理事会構成員と各委員会委員を確認した。また、各常任理事の役割分担が報告された。

#### 2. 規程・内規類の整備

青柳研究委員長より研究委員会内規について、荻原編集委員長より編集委員会内規についてそれぞれ整備状況が報告された。

### 3. 事務局業務の一部委託の状況

今井事務局長より事務局委託先の変更に伴う初期対応について一部業務が滞っていること、2017年6月よりクレジットカードによる会費支払いが可能になったことが報告された。

### 4. J-STAGE の搭載について

小田会長より前期担当常任理事であった松林理事が今期に入ってもご尽力いただいたため、『日本図書館情報学会誌』の J-STAGE 閲覧が過去分も含めて可能となったことについて謝意が述べられた。浅石常任理事から 2017 年 4 月からの J-STAGE を通じた学会誌の提供について、編集委員会と協力して実施する体制が整ったこと、『図書館学会年報』の提供は 6 月を予定していることが報告された。

### 5. その他

小田会長から、「図書館情報学教育の拡がりと今後の方向性に関する調査報告書」が発行されたことが報告され、制作を担当した石田理事（前期担当常任理事）に対して謝意が述べられた。2017 年度第 1 回常任理事会議事録の確認の依頼があった。今井事務局長から、2016 年度末現在の会員・会費状況の報告があった。

#### <協議事項>

#### 1. 選挙管理運営委員長の承認

小田会長より、常任理事会として選挙管理運営委員長に中央大学の小山憲司氏を推薦することが報告され、承認された。

#### 2. 2016 年度事業報告

小田会長から、資料に基づいて 2016 年度の事業報告の説明があり、審議を行なった。一部の項目に修正を加えた上で、これを承認した。

#### 3. 2016 年度決算報告・会計監査報告

今井事務局長から、資料に基づいて 2016 年度の決算報告の説明があり、審議を行なった。渡辺監事から、会計監査に関して、証憑の整理、帳簿の記帳などの会計処理が適正に行われていた旨の報告があった。いくつかの質疑の後、これを承認した。

#### 4. 2017 年度事業計画案

小田会長から、資料に基づいて 2017 年度事業計画案の説明があり、審議を行なった。一部の項目に修正を加えた上で、原案を承認した。

#### 5. 2017 年度予算案

今井事務局長から、資料に基づく説明があり、審議を行なった。繰越金の状況について質問と意見が出され、小田会長が状況説明を行なった。一部の項目に修正を加えた上で、これを承認した。

## 6. 選挙管理運営規程の一部改正案

倉田副会長から、副会長・常任理事の選出手続きに関する日本図書館情報学会規約と選挙管理運営規程の齟齬について説明があり、これへの対応のために、選挙管理運営規程の改正を定例総会に提案することを審議の結果、承認した。

## 7. 財政状態の改善（会費値上げ）について

小田会長より、現在の財政状況に鑑み会費値上げの検討開始についての提案が行われ、いくつかの意見が出された。

## 8. 研究助成対象者の扱いについて

小田会長より、学会誌への投稿を行っていないまま退会処分になった研究助成対象者に対する対応について諮りたい旨の提案が行われ、青柳研究委員長から詳細が報告された。審議の結果、当該者には助成金の返還を求めることが決定され、それ以降の対応については常任理事会が進めることとなった。

## 委員会・事務局より

### 『日本図書館情報学会誌』投稿募集

『日本図書館情報学会誌』の投稿先は以下のとおりです。投稿は随時、受け付けています。投稿に際しては「投稿規程」と「執筆要綱」をご参照ください。 (編集委員会)

- ・ 投稿先：日本図書館情報学会編集委員会 (journal@jslis.jp)
- ・ 『日本図書館情報学会誌』投稿規程 2016年10月8日改訂  
[http://www.jslis.jp/journal/c\\_reg\\_161008.pdf](http://www.jslis.jp/journal/c_reg_161008.pdf)
- ・ 『日本図書館情報学会誌』執筆要綱 2016年10月8日改訂  
[http://www.jslis.jp/journal/w\\_out\\_161008.pdf](http://www.jslis.jp/journal/w_out_161008.pdf)

### 視覚障害者への学会誌 PDF 版の提供について

視覚障害者の会員の方に『日本図書館情報学会誌』の PDF 版データを提供いたします。ご希望の方は、事務局 (office@jslis.jp) までメールでご連絡ください。お心当たりの方は、対象となる会員の方にお声かけいただければ幸いです。事務局より、障碍の程度をお伺いした上で、提供いたします。 (編集委員会)

### メールマガジンについて

総務委員会ではメールマガジンを随時、発行しています。掲載・講読希望の方は、総務委員会まで電子メール (somu@jslis.jp) にてご連絡ください。なお、掲載を希望する方は、PDF の添付ではなくメール本文に掲載内容を記してお送りください。 (総務委員会)

### 事務局の委託状況についてのお詫び

2017年4月より、事務局の委託先が大学生協から、株式会社ガリレオに変更されました。これは2017年3月をもって大学生協が学会委託業務から撤退することに伴う対応でした。

本来であれば、委託先が変更になった4月より円滑に業務を進めていくはずでしたが、大学生協側からの会員データベースのデータ提供が遅れたことに起因して、様々な対応が遅れて開始することになりました。現在以下の点で対応の遅れや不備が出ております。深くお詫び申し上げます。

1. 新規入会会員への必要書類送付や会報バックナンバーの送付
2. 年度当初の会員に対する調査票において会報送付方法が誤って記載されたこと
3. その他、学会事務局メールアドレス宛に対する会員問い合わせの対応

事態の正常化に向けて、委託先と綿密な連絡および連携を行い、これ以上のトラブルが発生しないよう対応して参りますので、どうぞよろしく願いいたします。

(事務局)

### 2017年度の会費納入のお願い

2017年度の会費請求は6月発行の学会誌とともにお届けします。4月号の会報で2017年度の会費請求がなされていないにもかかわらず、会費納入のお願いをしたため、混乱を生じさせてしまったことをお詫び申し上げます。

2016年度までの会費を未納の場合は、2017年度と合わせてできるだけ早く納入してください。なお、会費を3年滞納した会員(学生会員は2年)については、その年度末(3月31日)に会員資格停止の手続きを行います。次年度から会員としての権利を失いますのでご注意ください。

また、学生会員で2017年4月から就職された方については、すみやかに会員種別の変更手続きを行なってください。会費の金額が2,000円から5,000円に変わります。適正な会費をお支払いいただきますようお願いいたします。

#### 【振り込み先】

ゆうちょ銀行 口座番号=00160-5-0045759 口座名義=日本図書館情報学会

ゆうちょ銀行 019店 口座番号=当座 0045759 口座名義=日本図書館情報学会

なお、本年度より学会費のクレジットカードによる支払いができるようになりました。下記のサイトからログインの上、決済が行えます。

<https://service.gakkai.ne.jp/society-member/auth/settlement/JSLIS>

ログイン後、「オンライン決済へ進む」を押していただき、クレジットカード情報をご入力いただき、「オンライン決済の実行」をクリックすると決済が完了します。どうぞご活用下さい。

(事務局)

### 年度の途中の退会について

年度が替わってから退会申請される方が増えております。学会サイトでもお知らせしておりますように退会は必ず当該年度の3月20日に常任理事会で行なう入退会審査に間に合うように申請くださいますようお願いいたします。それ以降に退会申請をされた場合は、翌年度の退会となるため、2017年3月21日以降に退会申請された方については2017年度の会費をお支払いいただいた上で退会となります。くれぐれもご注意ください。

(事務局)

### 会員情報変更・退会および会員情報管理について

住所、電話番号、所属先、メールアドレス、会員種別等の変更については、学会ウェブサイトに掲載されているガリレオの会員情報管理システム(SOLTI)から直接変更していただくか、「会員情報

変更」のページ ([http://www.jslis.jp/membership\\_3.html](http://www.jslis.jp/membership_3.html)) に掲載されている「会員情報変更申請書」にご記入いただき、事務局 ([office@jslis.jp](mailto:office@jslis.jp)) までメールでお送りください。

なお、退会については特に書式はありませんので、電子メールにて、退会理由を併記のうえ、事務局 ([office@jslis.jp](mailto:office@jslis.jp)) までご連絡ください。 (事務局)

## 学会受領資料

紙幅の都合により、図書のみ記載しております。(編著者名の五十音順)

- ・ 上田修一・倉田敬子(編著) 『図書館情報学』第2版, 勁草書房, 2017
- ・ 小西和信・田窪直規(編著) 『情報資源組織演習』改訂, 樹村房, 2017
- ・ 田窪直規(編集) 岡紀子・田中邦英(著) 『図書館と情報技術』改訂, 樹村房, 2017
- ・ 日本図書館研究会オーラルヒストリー研究グループ (編著) 『文化の朝は移動図書館ひかりから』日本図書館研究会, 2017
- ・ Masanori Koizumi. *Inherent Strategies in Library Management*. Chandos Publishing, 2017

会員の皆さまが図書館情報学関係の著作を刊行された際には、可能であれば事務局(白百合女子大学今井福司研究室宛)まで1部お送りいただければ幸いです。書評対象文献の選定ならびに学会賞選考の際の参考とさせていただきます。

(事務局)

## 会員異動

学生会員で2017年3月で卒業・修了された方については、すみやかに会員種別の変更手続きを行なってください。会費の金額が2,000円から5,000円に変わります。